

第2学年

まちをつくろう

～生活を見つめ、さらにこうしたいという気持ちを大切に～

- めあて
- ・紙が立つように折り目をつけたり、のりしろをつくったりと工夫し、自分のつくりたいものに合わせてカッターを使う。
 - ・窓の形をいかした町を工夫してつくる。
 - ・作品のよさやおもしろさについて気づいたことを友達と話す。

- 準備物
- ・はさみ、のり、カラーペン（児童）
 - ・カッター、カッター板、セロハンテープ、作例（教師）



〈カッターで窓づくり〉



〈家の周りもつくり始める〉



〈家の中の部分（2階の床面、家具など）もつくる工夫も〉

学習の流れ	実践上の留意点
○窓のある建物をつくるという課題を知る。	・作例（途中作品）を見せながら、つくってみたいと思えるような声かけ（「この窓はどんなふうにか開くかな？」「開くと何が見えそうかな？」など）を意識する。
○カッターの使い方を知り、様々な窓の形を考えながら、カッターで開く窓やドアをつくる。	・2通りの持ち方（上から持つ・鉛筆のように持つ）、カッターの角度、紙の押さえ方、刃先の方向など、やって見せながら丁寧に説明する。 ・窓の形を1つ考えて下書きさせて、切らせる。その際、机間巡視し、取り上げるとよいと思われるものを全体に紹介する。つくった子どもに工夫した点を発表させる。
○紙の立たせ方を考え、建物と地面の部分を組み立てる。	・折り目をつけたり、切り込みを入れてのりしろ部分をつくったりするとよいことに気づかせる。また、倒れやすいものについては、補強部分をつくとよいことを助言する。
○窓を開いた時に見えるものや屋根、建物の周りなど細かい部分も工夫しながらつくる。	・身の回りの生活に関係のあるもの（木、ブランコ、歩いている人、犬など）へも関心を向けさせていく。 ・途中、友達の作品を見に行ってもよいという時間を設ける。